

News Release

平塚信用金庫

2019年10月吉日

記者各位

日本財団「わがまち基金」を活用した地域創生支援スキーム しんきん圏央道アライアンスによる「信用金庫の広域連携による圏央道沿線地域の 『地域資源』『地域産品』の発掘・発信プロジェクト」について

平塚信用金庫（本店：神奈川県平塚市、理事長：石崎 明）は、「しんきん圏央道アライアンス」に関する協定を締結（2018年12月21日）した4つの信用金庫（水戸信用金庫、埼玉縣信用金庫、千葉信用金庫、多摩信用金庫）と共同で、日本財団「わがまち基金」を活用した地域創生支援スキーム（以下、「本スキーム」という。）「信用金庫の広域連携による圏央道沿線地域の『地域資源』『地域産品』の発掘・発信プロジェクト」に取り組むこととなりました。

「しんきん圏央道アライアンス」を形成する5金庫では、本スキームの2019年度第二次募集（2019年7月1日～8月9日）に応募し、日本財団、信金中央金庫、全国信用金庫協会、学識経験者から成る諮問会議による審査を経て助成金が交付されることとなりました。なお、同基金を活用した地域創生事業において、圏央道沿線に本・支店を置く5つの信用金庫が共同して事業に取り組むのは初めてのことで、事業の概要は下記のとおりです。

記

1. 日本財団わがまち基金の概要

日本財団「わがまち基金」は、日本財団と信用金庫の連携により地域に新たなお金の流れを創出することで、地域の課題解決および地域の明るい未来の実現に向けた事業や担い手の育成等を支援し、地域が独自の強みを活かした自立的かつ持続可能な社会の創生を図ることを目的としたプロジェクトです。

2. 助成対象事業の概要

(1) 事業名

信用金庫の広域連携による圏央道沿線地域の「地域資源」「地域産品」の発掘・発信プロジェクト

(2) 助成金決定金額

3,730万円

（5金庫が実施する共通事業2,300万円、各金庫が実施する個別事業（合計）1,430万円）

（次ページに続く）

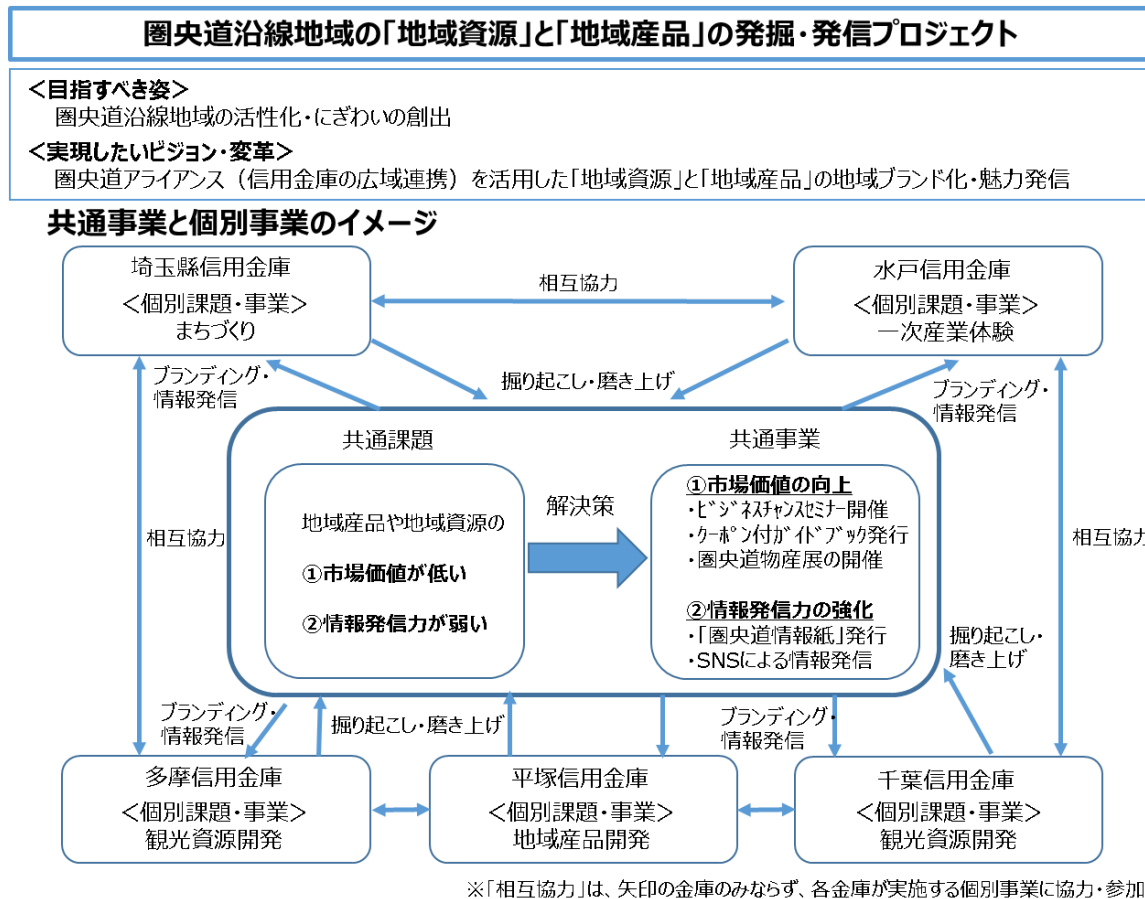
(3) 事業イメージ

本事業では、圏央道沿線地域の活性化・にぎわいの創出を目指し、「しんきん圏央道アライアンス」（信用金庫の広域連携）を活用した「地域資源」と「地域産品」の地域ブランド化・魅力発信を実現します。

共通事業では、1・2年目にビジネスチャンスセミナーの開催や、クーポン付ガイドブック・圏央道情報紙等の発行・発信を通じて「地域資源」や「地域産品」の掘り起こし、磨き上げを行い、最終年に開催する広域物産展を通じて、「地域ブランド化」を行います。

個別事業では、各信用金庫が特に地域課題、自金庫の課題として認識している事業に焦点を当てて、その掘り起こしや磨き上げを重点的にを行います。

また、各金庫の重点課題・施策（水戸信金：一次産業体験、埼玉縣信金：まちづくり、千葉信金・多摩信金：観光資源開発、平塚信金：地域産品開発）は、いずれも金融機関による「地域商社」としてのスキル獲得を目指しており、これら実施する事業に各金庫が相互協力することにより、人材育成と地域支援の手法について、各金庫が切磋琢磨しながら、全体的なレベルアップを図っていくことを目指しています。



3. 「しんきん圏央道アライアンス」の概要

圏央道沿線に本・支店を置く5つの信用金庫が、地域を横断した信用金庫の新たなネットワークを構築することにより圏央道沿線等の地域活性化や観光資源の活用など、地域貢献・地域創生を通じて地域経済の発展につなげることを目的とした協定です。（協定締結日：2018年12月21日）

（協定締結金融機関）

水戸信用金庫（茨城県水戸市）、埼玉縣信用金庫（埼玉県熊谷市）、千葉信用金庫（千葉県千葉市）、平塚信用金庫（神奈川県平塚市）、多摩信用金庫（東京都立川市）（金融機関コード順）以上
（次ページに続く）

～本件のお問い合わせ先～

営業統括部 経営サポートセンター 担当：小池・尾崎 TEL 0463-24-3031
〒254-0043 平塚市紅谷町 11-19 E-mail : sb1286100@hiratsuka-shinkin.jp